

ACOLS ニュース No. 110

レーザーマイクロダイゼクション利用中止

実験台譲渡・移管希望の募集

平素より、お世話になっております。

ACOLS ニュース No. 108 で募集いたしました、当部で使用しておりましたレーザーマイクロダイゼクションの移管希望に多くの部局・研究室よりお申込みいただき有難うございました。施設内にて検討しましたところ、管理専門委員会も設けられ、共用施設として運営されています生物圏科学研究科共通機器室へ移設し、共同利用機器としてご使用いただくことに決まりました。そこで、2月18日(金)からのご利用を中止させていただきます。

なお、来年度から「レーザーマイクロダイゼクション:Leica」を供用開始予定としております。詳細については後日お知らせいたします。

また、この度、実験台を譲渡・移管することになりました。ご希望の方は、2月28日(月)までに生命科学機器分析部宛にご連絡くださいますようお願いいたします。譲渡・移管の条件および実験台の大きさは以下のとおりです。

条件

移設作業・設置などの費用は譲渡・移管を希望する部署・研究室が負担する。

実験台の大きさ

ヤマト科学製 幅 300 cm、奥行き 150 cm、高さ 80cm (分割での使用はできません)



参考写真：

実験台に置いてある機器は含みません。

(連絡先)

自然科学研究支援開発センター生命科学機器分析部

霞総合研究棟 107 号室 (担当 福場)

内線：(霞) 6870 【082】 257-1593

e-mail：acols@hiroshima-u.ac.jp

HP：<http://home.hiroshima-u.ac.jp/acols/>

記：本施設を少しでもご利用いただき作成された論文には、「謝辞」に当施設利用の旨を記していただきたいと存じます(謝辞例文 This work was carried out at the Analysis Center of Life Science, Natural Science Center for Basic Research and Development, Hiroshima University.) さらに、実績として役立たせていただくため、別冊 1 部 (コピーでも可) を本施設にご提供いただければ幸いです。